

2020 年度
大東文化大学青桐会
全国各支部からの質問・要望

大学からの回答

【就職関連】	P. 1～
【教務関連】	P. 3～
【教職関連】	P. 5～
【学生生活関連】	P. 6～
【施設設備関連】	P. 7～
【スポーツ関連】	P. 8～
【留学関連】	P. 10～
【その他】	P. 11～

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国支部長等の
会員様よりいただいた大学への質問・要望に対する回答を
いただきました。

【就職関連】

1. 新型コロナウイルス感染症が終息せず、企業倒産や内定が取り消される等、就職活動が不安定です。キャリアセンターには就活中の学生から今までにどのような問い合わせが多く、どのような対応をされているのでしょうか。

【回答】今年度の就職活動については、初めて尽くしのことばかりとなり、保護者の皆さまも不安に感じていることと思います。大変少数ですが、本学学生の中からも、内定取り消しがあったとの申し出がありました。しかし、厳しい環境となった業界・企業ばかりではなく、コロナ禍で業績を伸ばしている業界・企業もあります。志望業界を広げて就職活動をすることで視界が開けることもありますので、できるだけ多くのキャリアセンター主催行事に参加し、見聞を広めることを推奨しています。

キャリアセンターに寄せられた問い合わせ内容は多種多様ですが、現4年生の面談の中での今年が目立った内容としましては、Web面接への対応の仕方、航空・旅行・ホテル業界の募集がないことへの対応に関わる相談が多かった印象です。これらの問い合わせに対しキャリアセンターでは、本年度4月上旬から、Zoomを使用したWeb面談を開始し相談に応じています。面談では、専門資格をもったキャリアアドバイザーを配置して対応をしておりますので、安心してご相談ください。面談はキャリアセンターのシステム「求人検索NAVI」から予約できますので、何かわからないこと、疑問に思うことなどがある場合には、積極的に活用するようお願いいたします。予約の仕方がわからない場合には、キャリアセンターから3年次に学生の皆さんに配布している「大東文化大学就職活動手帳」（以下、就職活動手帳と略します）に詳細に記載してありますので、そちらを確認いただくか、キャリアセンターまでお問い合わせください。

2. 3年生のインターンシップはどのくらいの学生が申込に参加していますか。インターンシップ募集企業では、企業内実施以外にリモート環境で対面しないなどの対応があれば教えていただけますか。

【回答】9月下旬から始まった3年生ガイダンスで取りまとめたアンケートによると、夏季休暇中のインターンシップには、約半数程度の学生が参加しているようです。本年度は、コロナ感染症の影響により、インターンシップを実施しない企業も多く見受けられました。実施した企業でも、例年より日数を短くしての開催や、Webを使用し対面で行わない形態で実施したインターンシップなどが見受けられました。

今後は、夏のインターンシップを実施しなかった企業でも、秋冬の時期に実施する企業が多いようです。インターンシップは、Webや紙媒体だけでは知ることができない実際の企業について見聞きし、実社会を垣間見ることができ、就職活動の土台作りの意味でも大変良い機会です。コロナの感染状況にもよりますが、こう

したチャンスを活かすべくインターンシップへは積極的に参加していただきたいと思ひます。なお、インターンシップ実施企業でも、実施方法や時期については、コロナの感染状況を鑑みながら決定していくといった未だ検討中のところが多いようです。したがひまして、希望する企業のインターンシップについては、こまめにホームページなどをチェックし、実施の有無、実施方法、応募方法などを確認する必要があります。また、キャリアセンターでも、インターンシップガイダンス実施やお勧め企業一覧の配布など、各種支援をしておりますので、そちらも是非ご活用ください。さらに、実施企業情報については、マイナビ、リクナビなどの就職情報サイトでも見つけられますので、こちらもうまく活用するようお伝えください。

3. Uターンを希望しています。道府県毎の就職協定の情報で今までと異なる点があれば教えてください。また、問合せ先一覧など資料類は誰でも閲覧することはできるのでしょうか。

【回答】キャリアセンターでは、今年8月、新たに青森県との協定を締結したことにより、現在、12県（青森県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県、長野県、山梨県、愛媛県、福岡県）と「UIJターン就職促進に関する協定」を締結しています。このことにより、学内で行なうセミナーへの参加などに協力をいただいております。

Uターン情報の入手先としては、東京にある各県の「Uターンセンター」や地方就職に特化したサイトを運営する「L0活サイト」などの利用を勧めています。UIJターンの問い合わせ先一覧については、就職活動手帳に掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

4. 3年生に配布される「就職活動手帳」は大変有用です。保護者が学生の就職活動の態様や大学の指導の様子を知ることができるので、保護者にも配布することはできないでしょうか。

【回答】就職活動手帳をご覧いただいたとのことで、大変貴重なご意見をありがとうございます。就職活動手帳については、毎年度、限られた予算の中で3,500部ほど製作しておりますが、3年生及び青桐会各支部に配布し、余剰がほぼない状況となっています。学生の就職活動支援として配布しておりますので、何卒ご理解をいただければと思ひます。また、就職活動手帳は、対象の全学生に行き渡るよう3年次の前期ガイダンスにて配布しておりますので、お手数ではございますが、お子様と共有してご確認いただきますようお願いいたします。

さらに、就職活動手帳の一部抜粋となりますが、青桐会から配布しています「保護者のためのガイドブック」にて、キャリアセンターの利用についての情報を公開していますので、そちらも併せてご確認ください。

【教務関連】

5. 新型コロナウイルス感染症の状況下で多くの授業がオンライン受講になっています。学生本人は機器やシステムに苦勞しているようです。授業内容以外の負担が少しでも減るように統一したシステムや方法で授業が受けられるようにしていただきたいと思いますが、システムの統一や教員研修等は可能でしょうか。

【回答】本学では主にDBポータルとmanaba(マナバ)という2つのシステムを使用していることからくるご質問かと推察いたします。このDBポータルとmanaba(マナバ)についてはそれぞれの機能・役割があります。

DBポータルは、学生の皆さんが充実した学生生活を送るための様々な情報を一人ひとりにわかりやすく掲示するシステムです。Webにアクセスできるパソコン・スマートフォン・携帯電話から閲覧できます。メールアドレスを登録すれば、お知らせメールも届きます。ここから、自分の時間割、シラバス、休講情報、キャリア支援課の就職支援システム(D-CAST)も見ることができます。

他方、manaba(マナバ)は、講義資料の配布、レポート提出管理、小テスト、出席管理など、授業支援を主たる目的としたシステムです。manaba(マナバ)を利用することで、オンライン講義を円滑に行うことが可能になっております。

また本学では、今年9月上旬に教員対象の全学FD研修会を開催し、前期オンライン授業における課題や問題点を共有し、後期授業に向けた改善提案を行いました。システムの問題点解消に関しましても今後検討を進めて参ります。

6. 地方から出てきて一人暮らししている学生の中には、コロナ禍での私生活及び授業形態の変化に対応できず、苦慮している者もおります。単位取得にも柔軟な対応をお願いします。

【回答】この度のコロナ禍の下で、とくに一人暮らしの学生さんがさまざまな不安を感じていらっしゃることは重々承知しております。本学では学生支援センター等を中心に学生さんや保護者の皆様のご質問・ご相談に応じる体制を取っております。電話やメール、SNSなどを通じてのご相談も受け付けていますので、どうぞお気軽にご相談ください。また本年度前期につきましては授業形態の変化に関わらず、全体の単位取得状況は概ね平年通りであったことをご報告申し上げます。

7. コロナ禍の状況で今後の授業の進め方等、学生達も不安な点があると思います。心のケアも含めてご指導をお願いいたします。
また、地方にいて、子供と直接聞き取りの出来ない保護者にも大学の状況、対面授業の再開時期など今後どのように展開していくのかわかりやすく説明していただきたいと思ひます。

【回答】 コロナ禍における各種ご質問・ご相談につきましては、これまでも学生さんのみならず、保護者の方からもたくさん頂戴しております。これらにつきましては、まずは本学職員（各事務室窓口）にて承りますが、ご質問・ご相談内容に基づき、責任ある立場の教員とも連絡を取り合いながら誠実に対応させていただいております。心のケアについても、学生支援課を通じて専門のカウンセラーに相談することも可能ですので、ご心配なことがありましたら、どうぞご遠慮なく、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

今年度の後期授業につきましては、オンライン授業を継続しつつ、一部科目において対面授業を再開しております。また、来年度につきましては原則として対面授業とする方向で準備を進めております。また今後状況の変化に応じて、適宜、大学のホームページを通じてお知らせしてまいりますので、どうか御覧くださいませようお願い申し上げます。

8. 新型コロナウイルス対策のため Zoom などを活用した授業を積極的に試み学生に向き合おうとする教員もいますが、逆に前期はずっと自習を指示する教員もいます。後期も同様の授業実施方式ということですが、講義レベルを下げる事なくコロナ禍前と同等の講義内容になるよう改善をお願いします。

【回答】 このようなコロナ禍は、誰も想像だにしていなかったこともあり、この度の前期オンライン授業での実施について、教員の中にもその対応については苦慮していた者もあったかと存じますが、前述のとおりご指摘をいただいていることも事実であり、大学側も猛省しております。今年度後期授業では一部対面授業も再開しておりますが、今後も、オンライン授業につきましては講義レベルを下げることなく、工夫して実施できるように改善に努めてまいります。

【教職関連】

9. コロナ禍で県外への移動規制があり、教育実習受け入れの内諾依頼活動が十分に行えず不安な学生が多くいます。大学提携校で実習枠を増やせないでしょうか。また、都道府県の小中高の受け入れが可能であれば教育実習を3年生で行えないでしょうか。

【回答】残念ながら、教育実習の受け入れにつきまして、本学と提携している学校はありません。また、教育実習を3年生で実施という点につきましては、教育実習は4年次配当科目として文科省に届出、教職課程設置が認可されていることや、教育実習に臨むにあたり、その前提として単位取得が必要な科目があります。その内3年次に配当されている科目については3年次の終了まで授業が行われるため、3年生は教育実習ができません。

なお、文科省令による今年度限りの特例措置でしたが、教育実習期間の短縮あるいは実習の中止により不足することになった教育実習の時間数（単位数）については、その全部又は一部を大学等が行う教育実習以外の科目（教育実習に相当する教育効果を有する等課程認定を受けた科目）の単位をもって充てることとされました。そのため、今年度これに該当する教育実習生には、本学開講の座学により取得した単位を教育実習の単位に充てるという対応を行いました。

もしも、コロナ禍が次年度にも続いた場合には、この特例措置が延長となる可能性が高いと考えております。

【学生生活関連】

10. 入学したけれど一度も登校できず、手探り状態でオンライン授業を受けている不安を抱えたままの学生への心のケアと、生活が困窮している学生への大学独自の支援はどのようなものがあるのでしょうか。

【回答】心のケアについては、お気軽に学生相談室をご利用ください（12. もご参照ください）。また、各学科に入門ゼミ（「基礎演習」など、学科によって科目名称は異なります）がありますので、まずはその担当教員などにご相談されてもよろしいかと思えます。

生活が困窮している学生への大学独自の支援については、平年の授業料減免、特別修学支援金に加えて、コロナ禍の中、大東学生特別支援金の給付（一律5万円）、ノートパソコンやポケット Wi-Fi の貸与、修学継続支援事業などに取り組んできました。また、学業成績優秀者への報奨金や本学と提携する金融機関の教育ローン利子補給金、学生災害見舞金などもあります。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

11. 遠方のためなかなか学校の様子が伝わりにくく困っています。家庭にも現状がわかるようなものを郵送して貰うことはできないでしょうか。

【回答】大学ホームページで最新の情報をご案内しておりますのでご理解くださいますと幸甚です。

12. 今回のコロナ禍での学生相談室での相談も増えていると思います。その中で学生同士での対人関係の悪化に対する対応、フォローを切にお願いします。

【回答】コロナ禍の中、学生相談室は、前期はオンラインや電話での相談に応じてきました。後期からは対面での相談にも応じ、また、オンライングループワーク（リラクゼーションやアート）の試行にも取り組んでいます。大学ホームページの「学生相談室」のページで各種のご案内をしていますので、是非ご覧の上、お気軽に学生相談室をご利用ください。

【施設設備関連】

13. 板橋キャンパスのスクールバスが混んでいるため、自転車で通学を希望しているものの駐輪場のスペースが少ないため出来ない学生もいるようです。2 段式の自転車ラックなど設備拡大のご検討をお願いします。

また、校内のスクールバス乗降場の整備改善、例えば屋根の設備や並びやすいようにラインなどを引くなどの検討もお願いします。

【回答】板橋校舎の自転車駐輪場は、西門と東門の2カ所に設置し、授業期間には整理要員を配置することで毎日整理を行っています。その中で、特に満車状態との報告は上がっておりませんが、駐輪場横の喫煙所を撤去し、駐輪スペースを拡大させるなど、より多くの自転車が駐輪できるよう努めています。

また、構内のスクールバス乗降場は正門大屋根の下に設置しており、雨の日でも傘を差さずにバスを待つことができます。授業終了時など一斉に学生が帰宅する時間帯には、大屋根をはみ出す場合は多いのですが、できるだけ多くのバスを運行し、長時間列を作らないよう努めています。今後は、並びやすいようなライン施工も検討して参りたいと思います。

今夏、東武練馬駅側の大東文化会館スクールバス乗降場を、大幅に改修しました。今まで路線バスのバス停のような小さな屋根の乗降場でしたが、乗り場を拡張し、屋根を設置するなどの改善を図っています。

【スポーツ関連】

14. 体育会寮の事です、強化部活内で格差がある様に思います。統廃合を含め、更なる充実をお願いいたします。

【回答】現在14クラブが独自の寮をもっております。中には老朽化も目立つ寮もあるのでスポーツ振興センターでは将来的には総合寮建設を大学側と積極的に協議していきたいと思っております。

15. 部活動も新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか活動が難しい時だと思います。各部で十分気を付けながらの練習となっていると思いますが、衛生面や食事での体調管理なども今一度、徹底していただき、十分な対応をお願いします。

【回答】7月練習再開までには、感染症対策本部と数多くの協議を重ね、指導者会議を開催し、スポーツ振興センターよりガイドラインを提示しました。各部の活動においては、原則指導者付添で今日まで行っており、感染状況により練習時間短縮、体育施設では一度に行える人数を制限するなどの措置を取っております。

さらに、学内入構やバスの乗車等についても見回りを行い、感染対策に努めております。また、練習再開にあたっては、クラブ独自の感染症対策も打ち出していただいております。寮の衛生面については、本年4月から業務委託した危機管理アドバイザーの指導の下、引き続き、徹底して参ります。

16. ラグビー部合宿所の食事については、改善されていることと思っておりますが、他校に比べ食事の質が低いと評判になっているようです。美味しくて栄養価が高い食事の提供をお願いいたします。

【回答】毎年のごとくラグビー部にはお伝えしている案件ですが、ラグビー部としてもすぐには改善しづらいと思っておりますので今後もスポーツ振興センターと協議してまいります。

17. 寮の厨房に害虫が沢山いるようです。どのように衛生面が管理されているのか、改善をお願いいたします。

【回答】今年から業務委託した危機管理アドバイザーが不定期ではありますが、寮を巡回し、指導を行っております。特にアドバイザーより本件については報告を受けておりませんが、衛生面が改善されなければスポーツ振興センターとしては注意勧告を当該クラブ指導者へ行ってまいります。

18. 天理大の新型コロナウイルス感染症例のとおり、選手がいわれなき中傷を受けないためにも、選手一人ひとりが細心の注意を払うようご指導をお願いいたします。

【回答】 いただいたご意見につきましては、各指導者には今後も指導者会議で、また主将・主務会議を通して、各運動部部員に対して『思いやり』を持てるよう周知する一方、でたらめな情報には注意するようしてまいります。もしそのようないわれなき中傷等を受けるような事態があった場合には、本学学生を第一に守るよう対応していきます。

別途、昨今薬物汚染で大学スポーツが取りざたされているのを受け、スポーツ振興センターでは埼玉県警に依頼し、薬物乱用防止講習会を開催する予定です。

【留学関連】

19. 海外研修も中止になり、友達や先生にも会えず、学生はモチベーションを保つのが課題となっています。大学としての対策は何かあるのでしょうか。

【回答】国際交流センターでは海外渡航を伴う語学研修プログラムの代わりに、海外大学のオンライン留学プログラム（2週間から4週間）をご案内しています。実際に現地に行けるようになった際に備え、eラーニングの英語学習講座のご案内やオンラインでの留学相談を行ない、現在できる留学準備のサポートをしております。語学力維持・向上のため語学試験を受験した場合、助成対象の語学試験であれば大学から受験料の7割（2万円を上限）の助成を受けることができますのでぜひこちらを活用してください。そのほかでは留学生とのオンライン交流イベント企画を検討中です。

海外留学や国際交流イベントの詳細につきましては、国際交流センターホームページにて随時更新・紹介を行っておりますのでぜひご覧ください。

（国際交流センターのホームページ

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/news/list.html）

（オンライン留学プログラム

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/studyabroad/language.html）

【その他】

20. コロナ禍において対面授業を実施出来ない状況については十分理解できます。しかしながら親の視点からは、専門の先生たちからの質の高い教育を受けることが出来るという前提で授業料を支払っています。特に地方出身者は、都市学生より高額な負担を強いられております。ぜひ一部授業料等の減額処置を検討していただきたいと思えます。

【回答】 学費に関する本学の考え方を説明いたします。ご存知の通り、大学では卒業要件として、在籍期間および取得単位数が定められています。学部は最低4年間在籍して124単位以上を取得することになっております。授業料は、この在学期間全体を通じて必要となる費用です。それを各年度に均等に分けて納付をお願いしています。所定の期間在学し、単位を取得し、卒業することに対する費用であるとも言えます。つまり、単位科目、あるいは単位時間当たりで設定されるという仕組みにはなっておりません。

オンライン授業により、授業のクオリティが低下するとの声も聞かれます。もちろん、現在行われているオンライン等による非対面式の授業は、学生の皆さんと教員のどちらにとっても想定していたものとは違いますが、この点に関しては、授業方法が変わったとしても単位付与に値するような教育の質の維持、向上をはかり、対面授業と変わらない、あるいは対面授業以上の充実した魅力ある授業となるように努めています。

一方、教育充実費は、主に大学の授業や課外活動をはじめとする教育研究活動をソフト、ハードの両面から支えるために使用する費用です。例えば、学生の皆さんが利用している施設・設備等の整備が挙げられます。そこには教室、図書館、食堂等だけでなく、会議室や事務室、さらには、廊下、階段、トイレ、エレベーターなどの建物すべて、また、校庭やその周りの樹木、スクールバス、通信環境、PCや机椅子、空調設備などの機器備品の購入、図書資料購入なども含まれます。こうした施設や機器・備品の整備、更新を継続的に行っていかなければなりません。それには多額の費用がかかるため、単年度の教育充実費で整備することはできません。大学は教育研究活動を継続的に運営していくために、常に中長期的な計画のもとで施設・設備等を整備しています。これらの施設・設備を維持していくための費用や修繕・改修のための費用なども当然必要となります。こうした修繕事業なども同じように中長期的な計画によって行われています。そのため、これらの費用は個別の施設や機器・備品ごとに割り振られているものではなく、入学年度に関係なく毎年納付していただく費用となっています。同様に、実験・実習費についても、入学から卒業までの期間を通して必要となる費用であり、月単位、年単位で設定されているものではありません。したがって、現在のようなオンライン授業の期間分は費用が発生しないというものではありません。このように、大学の学費は、学生の皆さんが入学してから卒業するまでの期間を通して、さらには中・長期的な教育・研究環境の整備にかかる費用を、数年間に分割して負担していただく

ものです。学費が中・長期的な視点に立った考え方により制度設計されているというのは、どの大学でも同様です。現在の大学の教育・研究環境の多くは過去の先輩方が築き、それが受け継がれてきたものであり、さらに充実させながら将来の後輩に受け継いでいくものでもあります。このように大学が連綿と続いていくうえで、学費はとても貴重で大切な財源となっておりますことをご理解ください。